鈴茂器工株式会社

2020 年 3 月期　決算説明会

2020 年 5 月 28 日

イベント概要

[企業名]	鈴茂器工株式会社
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2020 年 3 月期　決算説明会
[決算期]	2019 年度　通期
[日程]	2020 年 5 月 28 日
[ページ数]	17
[時間]	15:00 –15:17 （合計：17 分、登壇：17 分）
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	
[登壇者]	2 名 代表取締役社長　鈴木　美奈子　（以下、鈴木） 専務取締役　谷口　徹　（以下、谷口）

登壇

鈴木：鈴茂器工株式会社、代表取締役社長、鈴木美奈子でございます。皆様お忙しい中、決算説明会動画をご覧いただきまして誠にありがとうございます。

初めに、世界中で猛威を振るっております新型コロナウイルス感染症により、最前線で働かれている医療従事者の皆様、スーパー、外食等をはじめとするライフラインを支えてくださっている皆様に心から感謝を申し上げます。

また、感染された皆様におかれましては、心からお見舞い申し上げますとともに、早期のご回復をお祈り申し上げます。

本日は、本来であれば会場にて開催を予定しておりましたが、このような状況の下、感染防止も含めまして動画配信というかたちにてお届けを申し上げます。ご了承いただきたくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下の当社の取り組み SUZUMO

① 従業員・家族・顧客先への感染リスクの軽減

：在宅勤務等の実施・衛生対策の徹底と不急な訪問営業活動の自粛

② 販売・サービス体制の維持

：顧客先への最低限の販売・サービス対応及びサプライチェーンを維持

③ 生産活動の継続

：感染リスクの軽減対策を徹底し、生産台数を引き下げ、生産活動を継続

④ 状況の継続・鎮静化を見据えた事業活動の準備

：事業活動の再開準備と環境の変化を見据えた事業活動の検討

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 2

それでは説明に入らせていただきます。まず初めに、弊社の新型コロナウイルス感染症への対応についてご説明させていただきます。

新型コロナウイルス感染症に対する当社の取り組みについてご説明を申し上げます。当社では、四つのポイントにおいて取り組みを進めております。

1、従業員・家族・顧客先への感染リスクの軽減として、在宅勤務等の実施及び感染防止として全社員へのマスクの配布や衛生対策の徹底、そして訪問営業の自粛を行っております。

2、販売・サービス体制の維持といたしまして、最前線で働かれているスーパー、外食等の顧客先への販売・サービスの対応及びサプライチェーンの維持を行っております。

3、生産活動の継続といたしましては、感染リスクの軽減を徹底した上で生産活動を継続しております。

4、状況の継続・鎮静化を見据えた事業活動の準備といたしましては、本格的な事業活動の再開の準備を行うとともに、この新型コロナウイルスにより今後の事業環境は必ず変化していくという考えの下、今後の事業活動の検討を行っております。

それでは、決算説明の本題に入らせていただきます。今回は 3 部構成にてご説明申し上げます。

初めに、2020 年 3 月期、決算連結概要、次に、2021 年 3 月期の連結業績予想及び配当予想、以上を私より。そして最後の新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、専務取締役の谷口よりご説明申し上げます。

それでは第 1 部、2020 年 3 月期、連結決算概要でございます。

2020年３月期 連結決算 ： 計画比

SUZUMO

（単位：百万円）

	当初計画 (2019/5/14)	通期実績 (当初計画比)	サマリー
売上高	8,550	8,930 (104.4%)	✓ 国内の外食・小売業等の既存顧客への小型機械の入替および増設と新規開発大型機械の販売が堅調に推移。 ✓ 消費増税前の駆け込み需要が想定を上回り、反動減の影響も少なかった。
営業利益	600	765 (127.6%)	✓ 中間・通期計画ともに上方修正。 ✓ 売上高の増加に加えて、売上原価率、販売費および一般管理費が概ね計画通り推移したため利益が増加。 ✓ 退任役員の保険解約返戻金を特別利益として計上。
経常利益	600	702 (117.0%)	
当期純利益	200	321 (160.8%)	

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 5

まずは、計画比でございます。

売上高、当初計画 85 億 5,000 万円のところ、実績値は 89 億 3,000 万円、計画比 104.4%でございます。全体では計画比 104.4%と計画を上回る着地でしたが、国内と海外の計画比では、国内は 106.5%、海外は 98.6%でございました。

国内の外食・小売業を中心とした既存顧客への小型機械の入替及び増設や、新規開発いたしました大型機械の販売が堅調に推移いたしました。

また、消費税増税前の駆け込み需要が想定を上回り、反動減の影響も少なく、第 4 四半期時点では新型コロナウイルス感染症の売上の影響は少なかったため、計画に対して 3 億 8,000 万円の増収となりました。

次に、営業利益、経常利益につきましてはともに計画値 6 億円。実績といたしまして、営業利益は 7 億 6,500 万円、計画比 127.6%。経常利益の実績につきましては、7 億 200 万円、計画比 117.0%でございます。

売上高が計画に対して上回ったほか、売上原価、販売費及び一般管理費がおおむね計画通りに推移いたしたため、計画に対して営業利益は 1 億 6,000 万円、経常利益は 1 億円の増益となりました。

最後に、当期純利益でございます。計画値 2 億円のところ、実績は 3 億 2,100 万円、計画比 160.8%でございます。

退任役員の特別功労金の 1 億 5,000 万円を特別損失に計上しておりますが、売上高が計画を上回ったことと、退任役員の保険解約返戻金 3,300 万円を特別利益として計上した結果、計画に対し 1 億 2,000 万円の増益となりました。

2020年３月期 連結決算 ： 前期比

SUZUMO

（単位：百万円）

	2019年３月期		2020年３月期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	前期比
売上高	8,186	100.0%	8,930	100.0%	+743	+9.1%
売上原価	4,267	52.1%	4,685	52.5%	+418	+9.8%
売上総利益	3,919	47.9%	4,244	47.5%	+325	+8.3%
販売費及び一般管理費	3,226	39.4%	3,479	39.0%	+252	+7.8%
営業利益	692	8.5%	765	8.6%	+72	+10.5%
経常利益	696	8.5%	702	7.9%	+6	+0.9%
当期純利益	468	5.7%	321	3.6%	−146	−31.4%

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 6

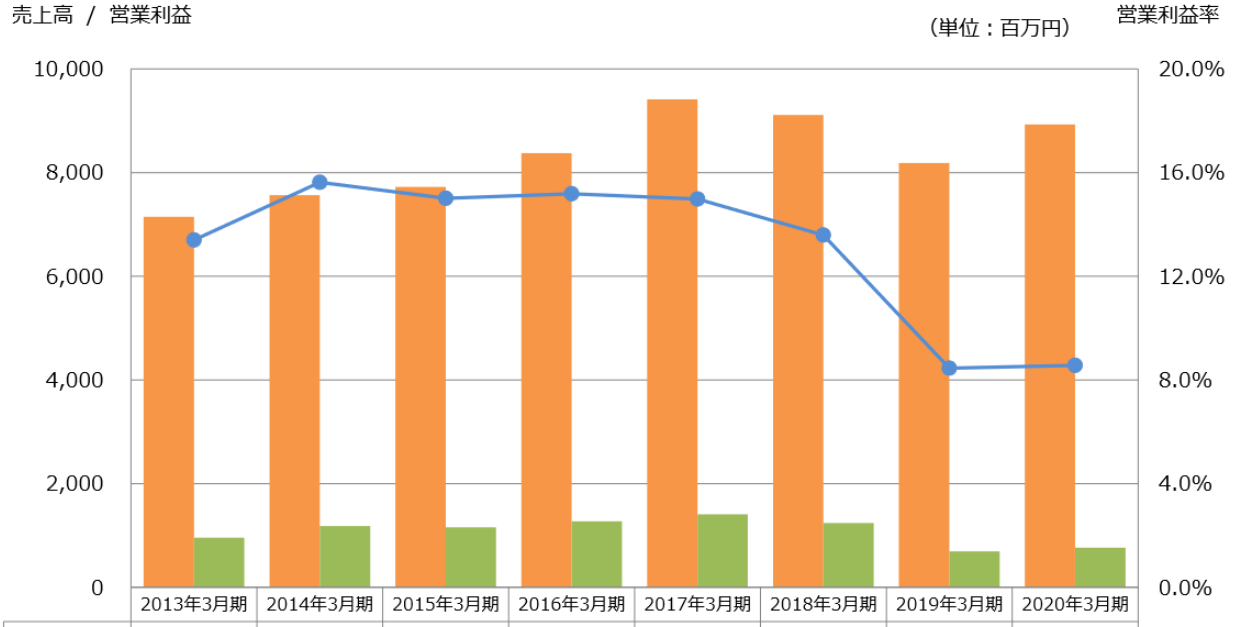
次に、前期比でございます。

売上高、9.1%増の 7 億 4,300 万円。国内売上は前期比 112.2%、7 億 3,500 万円の増収。海外売上は前期比 100.4%、700 万円の増収となりました。海外売上につきましては、計画値は下回ったものの、前期比は若干のプラスとなっております。

続きまして、売上原価、9.8%増の 4 億 1,800 万円。売上総利益、8.3%増の 3 億 2,500 万円。販売費及び一般管理費、7.8%増の 2 億 5,200 万円。営業利益、10.5%増の 7,200 万円。経常利益、0.9%増の 600 万円。そして、当期純利益、31.4%減の 1 億 4,600 万円でございます。

2020年３月期 連結決算 ：売上高･営業利益の推移

SUZUMO



	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	7,149	7,564	7,724	8,377	9,412	9,111	8,186	8,930
営業利益	958	1,182	1,159	1,272	1,410	1,238	692	765
営業利益率	13.4%	15.6%	15.0%	15.2%	15.0%	13.6%	8.5%	8.6%

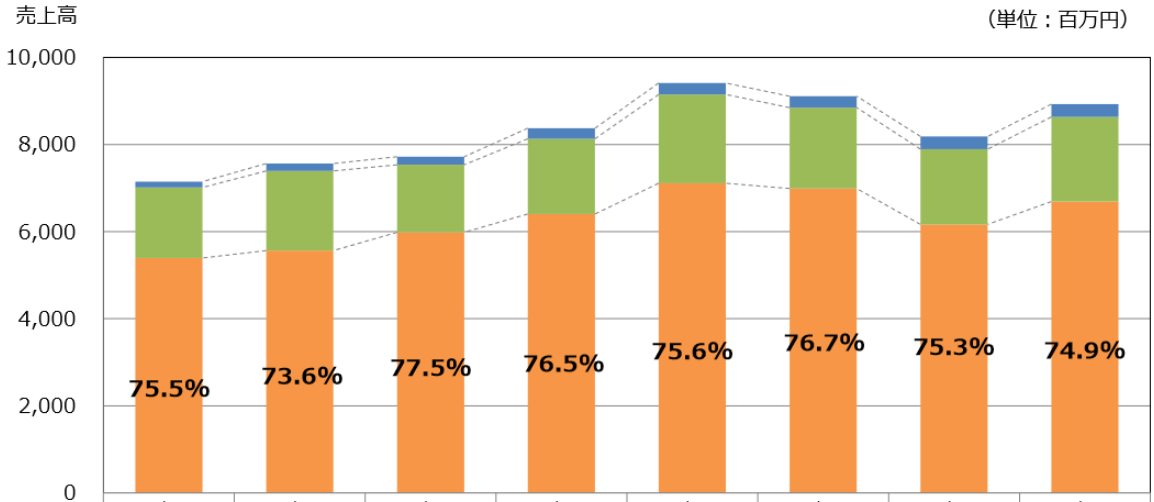
Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 7

次に、売上高・営業利益の推移でございます。

こちらは 2013 年 3 月期より 2020 年 3 月期までの 8 年間の業績の推移でございます。2018 年、2019 年と 2 期連続で減収減益しておりました売上高・営業利益は、2020 年 3 月期にて増収増益に転じております。

2020年３月期 連結決算 ：自社製品等の売上高推移

SUZUMO



	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
その他 メンテナンス等	134	167	187	242	261	264	290	296
他社機 炊飯関連機器等	1,620	1,830	1,551	1,730	2,039	1,856	1,731	1,944
自社機 寿司ロボット等	5,394	5,565	5,984	6,403	7,111	6,991	6,164	6,689

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 8

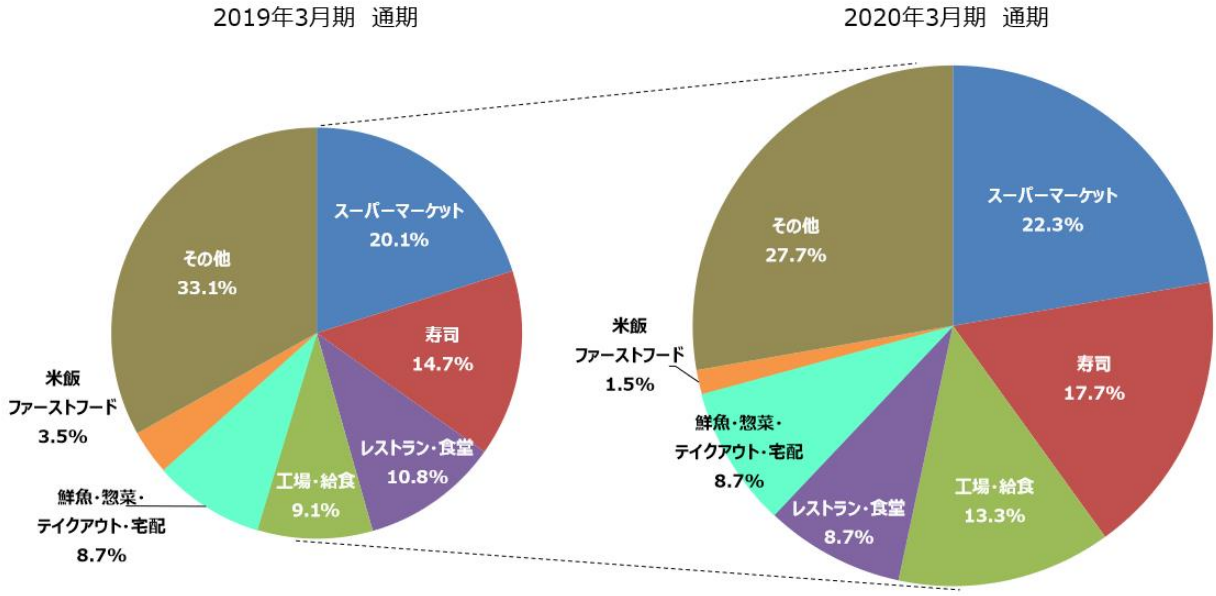
次に、自社製品等の売上高推移でございます。

こちらでは寿司ロボットを代表とする自社機をオレンジ、仕入れ商品である他社機をグリーン、そしてメンテナンス等のその他をブルーに、色分けにて表示をしております。

全てのカテゴリーの売上高が昨年度より増収となっておりますが、特に自社機につきましては５億2,500 万円の増収となっております。

2020年３月期 連結決算 ：業態別売上比率

SUZUMO



※ 業態別売上比率は単体業績に基づき算出

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 9

次に、業態別売上の比率でございます。

売上構成比率が増え、特筆される業態はスーパーマーケット、寿司、工場・給食でございます。

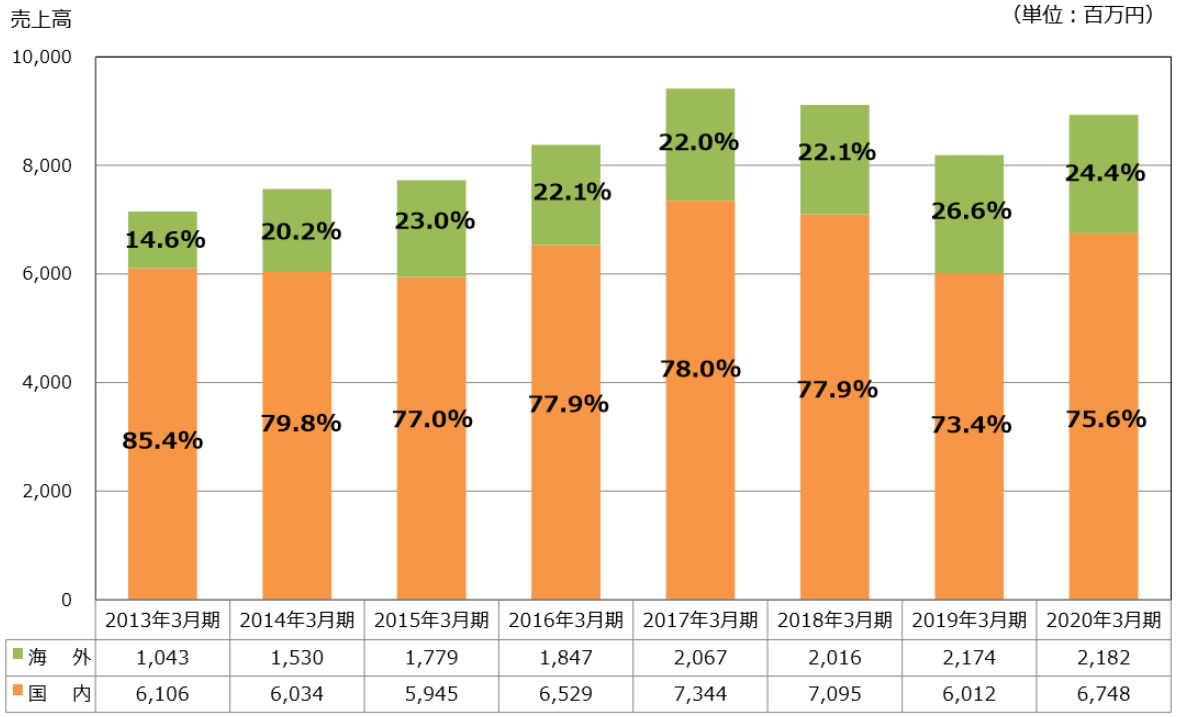
スーパーマーケットにつきましては、店内調理にて作りたての商品をおいしく召し上がっていただきたいというスーパーマーケット様が大変増えてきており、海苔巻きロボットの新規導入や入替需要が多く、前期比 118.8%、1 億 9,600 万円の増収となりました。

寿司につきましては、既存顧客様の機械入替需要が大きな要因になっており前期比 128.5%、2 億 1,700 万円の増収となっております。

最後に工場・給食につきましては、コンビニベンダーを中心に新規開発の大型機、飯盛り・容器供給ライン等の導入により、前期比 156.4%、2 億 6,700 万円の増収となりました。

2020年３月期 連結決算 ：国内外の売上比率

SUZUMO



	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
海　外	1,043	1,530	1,779	1,847	2,067	2,016	2,174	2,182
国　内	6,106	6,034	5,945	6,529	7,344	7,095	6,012	6,748

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 10

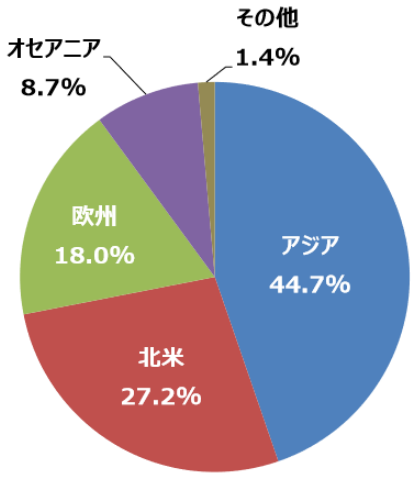
次に、国内外の売上比率でございます。

売上全体では国内、海外ともに前期比では増収となっております。海外の売上比率は 24.4%、全売上高の約 4 分の 1 となっております。

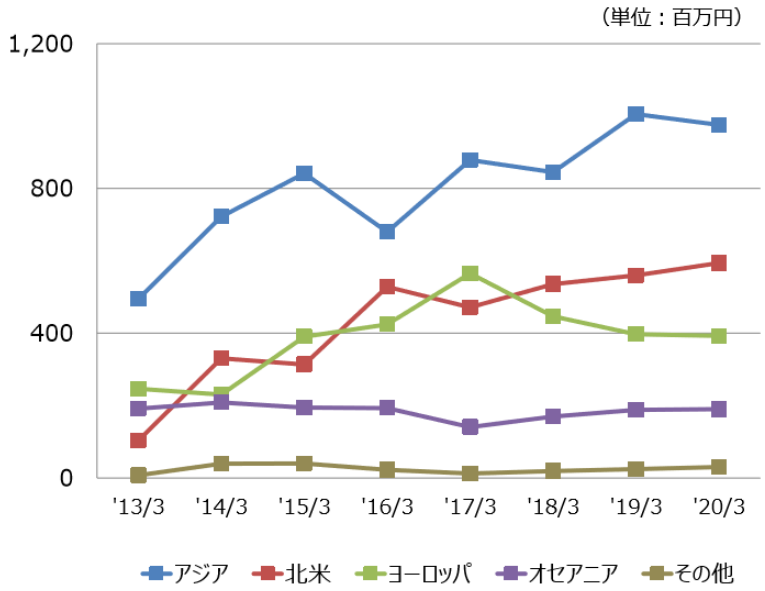
2020年３月期 連結決算 ：海外地域別比率

SUZUMO

■ 海外の地域別売上高の割合



■ 海外の地域別売上高の推移



Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved. 11

次に、海外地域別売上の比率でございます。

海外の売上比率の順番といたしましてはアジア、北米、欧州の順になっておりますが、アジアでは韓国、香港の情勢が不安定であったため、前期と比べますと減少をしております。

北米では新規顧客の開拓や米飯食市場の深耕の結果、前期より増加をしております。

2020年３月期 連結決算 ：連結BS 資産の部

SUZUMO

（単位：百万円）

	2019年3月期 期末		2020年3月期 期末		前期比	増減額
	実績	構成比	実績	構成比		
流動資産合計	9,592	71.4%	9,753	70.5%	+1.7%	+161
現金及び預金	6,503	48.4%	6,603	47.7%	+1.5%	+100
売上債権	1,102	8.2%	1,256	9.1%	+14.0%	+154
たな卸資産	1,866	13.9%	1,808	13.1%	−3.1%	−57
その他	120	0.9%	84	0.6%	−29.8%	−35
固定資産合計	3,838	28.6%	4,076	29.5%	+6.2%	+237
有形固定資産	2,698	20.1%	2,800	20.3%	+3.8%	+102
無形固定資産	150	1.1%	208	1.5%	+38.1%	+57
投資その他の資産	989	7.4%	1,067	7.7%	+7.9%	+77
資産合計	13,431	100.0%	13,830	100.0%	+3.0%	+398

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved.

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375

フリーダイアル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS Asia's Meetings, Globally

2020年３月期 連結決算 ：連結BS 負債純資産の部

SUZUMO

（単位：百万円）

	2019年3月期 期末		2020年3月期 期末		前期比	増減額
	実績	構成比	実績	構成比		
負債合計	1,948	14.5%	2,175	15.7%	+11.6%	+226
流動負債	939	7.0%	1,110	8.0%	+18.2%	+170
固定負債	1,008	7.5%	1,064	7.7%	+5.5%	+55
純資産合計	11,482	85.5%	11,654	84.3%	+1.5%	+172
株主資本	11,521	85.8%	11,722	84.8%	+1.7%	+200
その他包括利益累計額	−38	—	−80	—	—	−42
非支配株主持分	0	—	13	0.1%	—	+13
負債純資産合計	13,431	100.0%	13,830	100.0%	+3.0%	+398

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved.

連結 BS 資産の部及び負債純資産の部につきましては、スライドの数字をご参照いただきたくお願い申し上げます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375

フリーダイアル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

SCRIPTS Asia's Meetings, Globally

SUZUMO

■ 2021年3月期　連結業績予想

新型コロナウイルス感染症拡大による顧客企業の活動停滞の影響や顧客企業の事業環境の変化にともなう設備投資への影響が不確定であるため、現時点で合理的に算定することが困難な状況です。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

■ 2021年3月期 配当予想

	2020年３月期 通期	2021年3月期 通期
配当予想	20.0円	20.0円

Copyright (C) 2020 Suzumo Machinery Co.,Ltd. Al l Right s Reserved.

次に、第 2 部、2021 年 3 月期連結業績予想・配当予想についてご説明申し上げます。

2021 年 3 月期、連結業績予想。こちらにつきましては現在、新型コロナウイルス感染症拡大による顧客企業の今後の活動影響、そして事業環境の変化にともなう設備投資への影響が不確定でございます。

海外におきましても、一部の地域において経済活動が再開はされているものの、需要の回復が限定的であり、いまだ不透明な状況でございます。現時点では業績に与える影響度やその期間が見通せず、業績予想の適正かつ合理的な算定を行うことが困難な状況でございます。

今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった場合、その時点で速やかに開示をさせていただきたいと考えております。

2021 年 3 月期配当の予想につきましては、安定配当の方針に基づき、配当予想は 20.0 円を継続させていただきます。

次は、第 3 部、新型コロナウイルス感染症の影響について、専務取締役、谷口よりご説明を申し上げます。

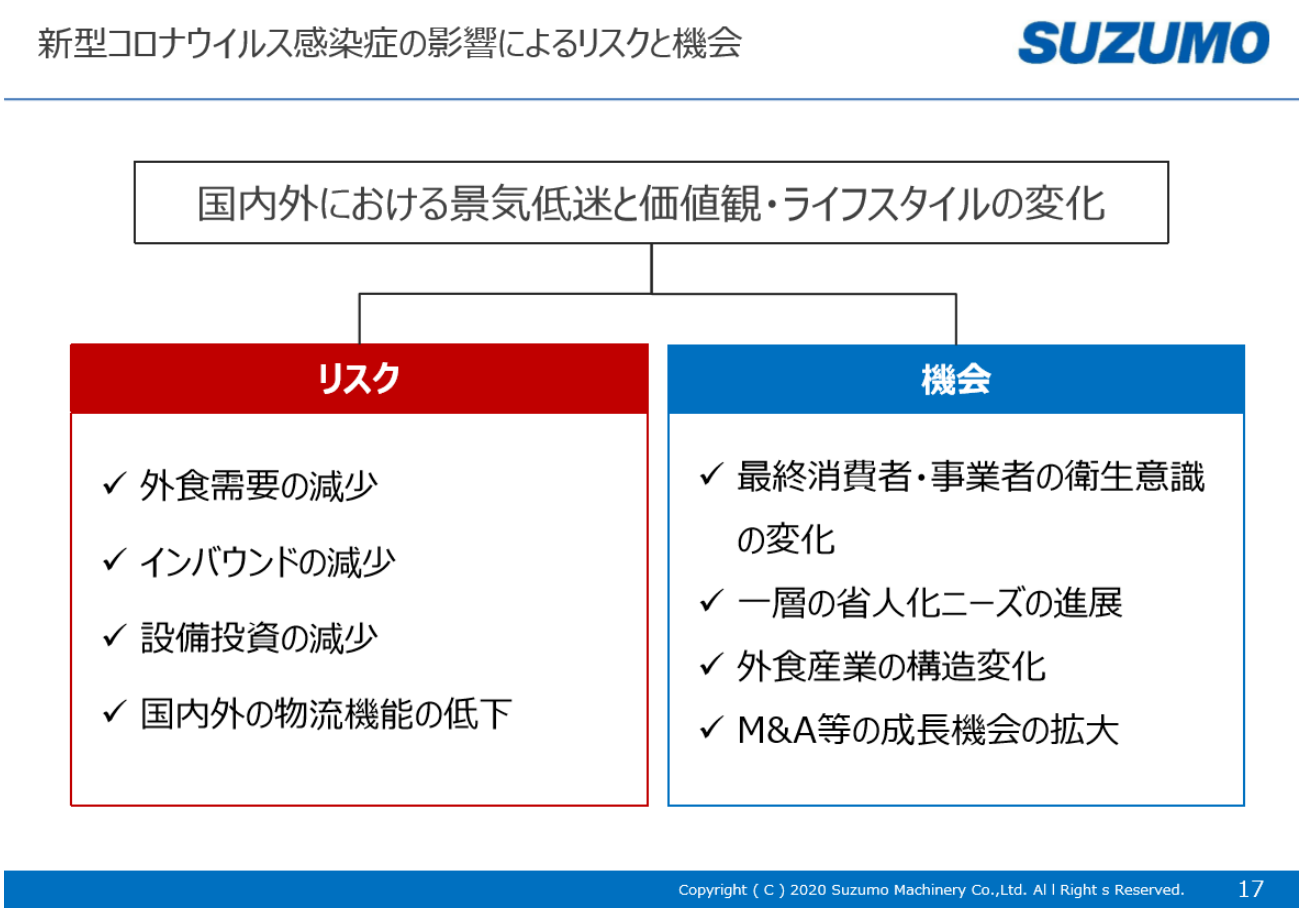
谷口：谷口でございます。

コロナ禍における当社の事業リスク及び事業機会について、私よりご説明いたします。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、リーマンショックの時とは異なる次元で世界規模の景気低迷をもたらすだけでなく、人々の本源的な価値観やライフスタイル、こうしたものに大きな変化をもたらすと考えております。

その結果、これまで展開してきた当社の事業にも大きな変化が起こるという危機感を抱いております。そしてその変化に対応した経営をしていかなければと考えております。

新型コロナウイルスの感染拡大は、日本及び海外主要国や都市に渡航制限、もしくはロックダウン等をもたらし、事業活動や消費活動の大幅な自粛を強いるなど人とモノの流れが滞りました。



そうした状況下で想定される当社の足元の事業リスクとして、次の事象が挙げられます。

1、インバウンド消費を含む外食需要の低迷による顧客の数や顧客店舗数の減少。

2、顧客の新店計画、既存店における当社の機械の入替計画、こうしたものが中止もしくは見直しが起こってくる。

3、国内外流通網の停滞により海外の販売促進、そして資材調達への影響、こうしたものが考えられます。

このような生産、販売に対するリスクが少なくとも今期、状況によっては来期の当社の売上に影響を及ぼすと考えております。

しかしながら一方で人々の価値観やライフスタイルの変化は、当社がこうしたリスクを乗り越えたその先にある当社の事業機会、こうしたものを大きく広げると考えております。

まず、消費者・事業者の衛生に対する意識の高まり、そして浸透。これが食サービスに対する価値観や変化をもたらします。具体的には食を提供するサービスのセルフ化、機械化、省人化がさらに加速すること。そして当社のグループ会社であるセハーが取り扱う衛生資材のさらなる需要拡大が挙げられます。

次に、これまで店内飲食が中心の外食店舗運営、こうしたものが持ち帰りやデリバリーなどの機能付加がされる。そうした結果、当社お客様のニーズが多様化する、こうした中で当社の機械にも新たな価値が生まれてくると考えております。

次に、当社の新規事業及び成長に資する M&A、もしくは投資、こうした機会が拡大するとも考えています。当社の強固な財務基盤を武器にして、こうした投資機会を取り込んでいけると考えております。

以上のとおり、当社は先に述べた事業リスクを認識しながらも、コロナ禍もしくはポストコロナにおける事業環境の変化や事業機会を的確に捉えて、これまで以上に攻めの経営を行っていきます。

鈴木：以上をもちまして、決算説明会を終了させていただきます。

なお、決算に関わる質問に関しましては、本説明会資料の最終ページにございますお問い合わせ先までご連絡をいただきたくお願い申し上げます。

本日は、ありがとうございました。

［了］

脚注

1. 音声が不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。